

◎自然災害碑の標柱を2か所設置

「五味天満宮地震碑」「中浜峠・池家墓所」

近世から近代にかけて発生した地震・津波・水害等の災害に関する市域所在の10基の自然災害碑が、令和2年11月27日に一括して市指定文化財(有形・歴史資料)として登録された。日本ジオパーク認定の現地審査でも、市が自然災害碑を文化財として指定し、保護することが高い評価を得ることができた。

日本ジオパークとして継続して活動していくための今後の課題として、説明版や標柱等を逐次設置し、これを周知していく必要があることが審査員から助言を受けた。

これに対して生涯学習課は、国立公園*ジオパーク推進課と連携し、その課題を一步一步クリアしていくため、今回、下ノ加江地区五味天満宮に所在する「五味天満宮地震碑」と中浜峠墓地に所在する池道之助が建立した「池家墓所」の2か所に市指定文化財を周知する標柱を設置した。

「五味天満宮地震碑」は、もともと伊豆田峠に設置されていた物をトンネル開通工事を行うため、昭和31年に下ノ加江・五味神社に移設したものである。なお、設置にあたっては、「五味天満宮地震災害碑」標柱は市野々区長に、池家墓所は池家五代目鈴木典子さんに承認を得ていることを申し添えます。



↑五味天満宮内の地震碑の標柱



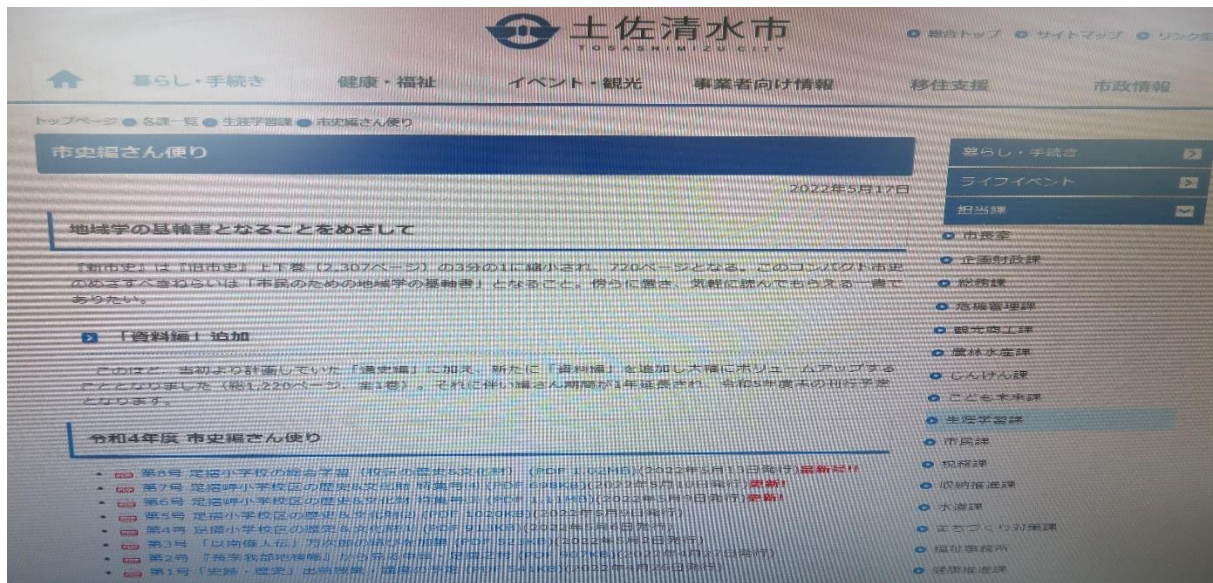
↑中浜峠所在池家墓所の地震津波碑標柱

※市史編さん便りを土佐清水市ホームページでアップしています！

令和2年度は通算第30号、令和3年度は通算第60号の「市史編さん便り」を発行しました。今年度も第60号の発行を目標に取り組んでいきますのでよろしくお願

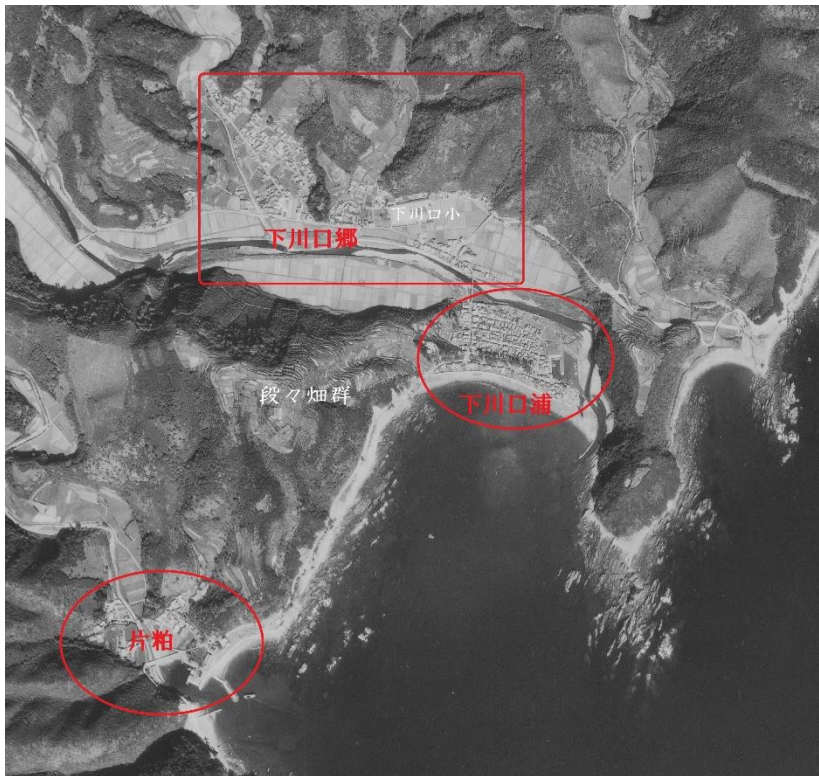
いします。

令和2年・令和3年度にかけての過去の「市史編さん便り」と、本年令和4年度の「市史編さん便り」を**土佐清水市ホームページでアップ**しております。是非ご覧ください。



※昭和30年代頃の市域 ～シリーズ(1)～

「下川口地区周辺の航空写真(市教育センター所蔵)」から…



左の写真は、昭和30年代の下川口郷・浦や片粕の航空写真である。

宗呂川右岸に拓けた浦集落は街路が縦横格子状に家屋が密集している。浦南東部の河口に掘込港が見える。この当時は、サニーロードも造成されておらず、旧国道は遠奈路ノ浜から城山の尾根のもとを上がり郷集落へ、下川口橋を渡り浦集落へ、ここから海岸沿いに片粕へ抜けた。

浦集落の南側一帯には「人家囲い」と「松林」があり、防風・防潮の

対策がなされている。浦西側の山塊（春日神社上部）に段々畑が広く形成されており、食糧供給のため穀物が植えられていたのではないかと推測することができる。